



1993年 新年号
No.258号
平成5年1月16日発行

1988年12月10日友好都市稚内市に次いで国内2番目に設置された「世界平和の鐘」「ほほえみの鐘」あらたまの年を迎えるにあたり、世界の恒久平和と子どもたちの幸せを願い、市民多数が参加し新春の鐘打を行いました。

年頭のあいさつ



市長 石垣 泰 嶺 半

あらたまの年、輝く平成五年の年頭に当たり、希望に満ちた新春を市民皆様と共に寿ぎつつ、心からお喜び申し上げます、ここに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、旧年中は、市民皆様の温かいご理解とご支援の下、大過なく市政を担当させて頂きました。ここに改めて市民皆様の心温まるご芳情に対し衷心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

顧みまするに、昨年は内外共に変革と激動の年でありました。まず、国際情勢におきましては、冷戦構造の崩壊、クリントン米国新政権の誕生、

日米間のコメ市場開放をめぐる経済摩擦等、大きく揺れ動く激動の年でありました。一方、国内におきましては、政治不信やバブル経済崩壊による経済不況が吹き荒れ、政治改革への胎動、景気回復のための総合経済対策の樹立、生活大国五ヵ年計画の策定等、新しい政治経済改革に向けて動きだした年でありました。また、県内におきましては、復帰二十周年記念事業に加えて第三次沖縄振興開発計画が策定され、二十一世紀への沖縄の進むべき新しい方向が示されました。

着工」「農村総合整備モデル事業の着工」「底原ダム水環境整備事業の着工」「川平公共下水道浄化センター着工」「学校教育施設の整備」等、各方面の基盤整備において着実なる進展をみる事ができました。一方、ソフト面の施策におきましては、昨年を「環境元年」の年と位置づけ、資源ゴミの分別回収をはじめ「ゴミリサイクル運動」「みどり」と花いっぱい運動」「ゴミ焼却炉建設委員会設置」「赤土汚染対策協議会の設置」「公共下水道建設事業の推進」等、環境問題に積極的に取り組むと同時に、シルバー人材センターの開所、「市長への手紙事業」「市民のチャンネル」「市民と語る集い」等、対話と協調の行政を推進して参りました。更に、青少年の非行防止に向け、「青少年対策係」を設置して全市民的な

規模で、青少年健全育成運動に取り組み、一定の成果をおさめることができました。また「大濱信泉先生誕百周年記念事業期成会」が発足いたし、大濱信泉先生のご遺徳を後世に伝える記念館建設事業がスタートいたしました。

しかしながら一方、八重山郡島民の悲願とする「新石垣空港建設問題」につきましては、建設位置の選定について県との間に合意をみる事ができず、課題を新年に持ち越す結果となりましたことは、誠に残念であり、今年の最重要課題として決意を新たにいたしている処であります。

さて吾々は、第三次沖縄振興開発計画のスタートによって、一層の社会基盤の充実整備をなし、市民生活の向上等豊かさの実感できるまちづくりを進めなければなりません。その目標に向かって、平成五年度は「総合体育館建設事業の着工」「八島小学校建設事業の着工」「公共下水道建設事業の着手」等の新規事業をはじめ「新石垣空港建設の促進」「石垣港湾整備事業の推進」その他、「漁港の整備」

「白水ダムの建設」「ゴミ焼却炉の建設」「総合福祉センター建設」「老人ホームの増床・増設」「都市公園の整備」等々懸案の諸事業を強力に推進して参る所存であります。更に、「サトウキビ・パイン基幹作物の振興」「牧野ダニ撲滅事業の推進」「ウリミバエ根絶事業の推進」「フライト農業振興のための輸送対策」「農地活性化対策事業の推進」「総合観光施設計画の策定」「リゾート開発の推進」等諸産業の振興を大きく前進させなければならぬ年であると決意を新たにしている処であります。

さて、内外の時局、正に多事多難であり、吾々は今「大いなる変革の時代」に直面をしております。この時に当たり、吾々は、全市民の英知を結集し、力を合わせて、この難局を克服して参らなければならぬと存じます。

願わくば、市民各位におかれましては、和衷協力をもって本市発展のために一層のご鞭撻とご支援を賜りますことを念願してやまない次第であります。

お蔭様で、私も今年四月は、任期最終年度を迎えることになりました。これまで賜りました市民皆様のご期待にお応えいたすためにも、手がけて参りました諸事業の推進に全力を尽くして参る決意でございます。何卒、一層のご支援をお願い申し上げる次第であります。

年頭に当たり、市民皆様への限りないご繁栄と御多幸をお祈り申し上げ、併せて本市のいや栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



市長 正 桃原

市民の皆様あけましておめでとうございます。

輝かしい新春の朝の大気の中、ロマンに満ちた琉球の風が吹く平成五年の年頭に当たり、まずは市民皆様のご繁栄とご多幸を心からご祈念申し上げます、併せて石垣市議会に寄

せられました平素のご鞭撻ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

顧みまするに昨年は、本土復帰二十周年並びに石垣市制施行四十五周年等の節目にあたる極めて重要な記念すべき年でありました。

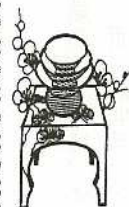
さて、ご高承のとおり政府のご高配により引続き高率補助の確保及び第三次振興計画スタートの年度に当たる平成五年度は、全ての面において極めて意義深く、これからの向こう十年間は正に沖縄県各市町村にとっては、豊かで夢のある新世紀を展望した諸施策を積極的に展開する正念場であると存じます。このような重大な時局に当たり、わが石垣市においては引き続き重要な懸案事業であります新石垣空港の早期建設問題をはじめ、市民総合体育館並びに過大規模校の分離新設等に加えて、八重山は一つを合言葉に発足した八重山広域圏諸事業の促進等々山積する諸々の重要課題を推進していかねければなりません。

特に、新石垣空港の早期建設は、八重山郡全体における

諸産業の振興発展の基礎をなすものであるだけに、もはやこれ以上の遅れは許されず、市民の英知を結集し、その早期実現を図らなければならぬと存じます。

その意味におきましても、今後共、行政、業界並びに市民関係各層のより緊密な連携の下、磐石なる態勢の確立が強く望まれるところであります。

新世紀の足音がいよいよ身近に響くこれからの向こう十年、豊かで夢のある石垣市の更なる発展に向け、市政の各般に亘り諸施策の積極的な展開に全力を傾注して参らねばならないものと存じます。



市消防 出初め式

平成五年度の消防出初め式が、一月六日八島町離島棧橋で、消防職員・団員、婦人防火クラブ、幼年消防クラブ員はじめ関係者多数が出席して開催されました。式では、半嶺市長による職員・団員の観閲や服装点検及び消防器具機械等の特別点検に続いて、幼年消防クラブによるマーチングバンドや市内の保育園児らによる鈴わり、一斉放水等のプログラムが次々と催され、今年一年の防火防災を祈願いたしました。



親善都市から石垣市民へ



岡崎市長 中根 夫

平成五年の輝かしい新春を迎え三十一万岡崎市民を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

貴市と昭和四十四年二月十九日に「親善都市」として提携以来、産業、教育、文化等各方面にわたる交流を通して年々交流の輪が広がってまいりました。これもひとえに、石垣市民の皆様方の温かい友情の賜と心から感謝申し上げます。次第であります。

石垣市におかれましては、エメラルドの海とコバルトブルーの空、温暖な気候という素晴らしい自然環境のもと、格調高い伝統文化を継承しつつ、新しい世紀に向けて第二次総合計画基本構想に基づき、市民参加による環境との調和のとれた個性あふれる魅力ある街づくりを進められ日本最

南端の自然文化都市としてめざましい発展を遂げておみえになりますことは誠に御同慶にたえません。

岡崎市におきましても、来たるべき二十一世紀を展望した第四次岡崎市総合計画に基づき城址公園である岡崎公園やスポーツと文化を集約した中央総合公園の整備、中心市街地開発については「ハイコ

友好都市から石垣市民へ



稚内市長 賀 一 夫

石垣市民の皆様、あけましておめでとうございます。

希望に溢れる平成五年の新春を迎え、日本最北の地より心からお慶びを申し上げます。ご承知のとおり、日本最南端の石垣市と稚内市とは、去る昭和六十二年に「友好都市」を提携いたしました。早い

ンプレックス二十一構想」の推進、また福祉会館の建設、市立病院の移転新築計画など西三河の中核都市として、明るく、住みよい、豊かな岡崎市をめざし、魅力あるまちづくりに取り組んでおります。

どうか本年も親善都市として一層の御高誼を賜りますようお願いいたします。年頭にあたり、石垣市のみならずの御発展と市民の皆様への御多幸を心よりお祈り申しあげごあいさついたします。

もので、すでに五周年を迎えております。

この間、双方におきましてさまざまな交流事業を展開し、友好の絆を深めてまいりました。

半嶺石垣市長さんをはじめ、関係各位におかれましては、本当に一方ならぬお世話をいただいできたところであり、この機会に本市を代表いたしまして、心から感謝を申し上げます。心から感謝を申し上げます。さて「友好都市提携五周年」を迎えた中で、稚内市におき

新年祝賀名刺交換会1/4

約1,000人の市民が、新春を祝い石垣市のさらなる発展を祈りました。



ります。

また、こうした「芽」が、やがて大きく育ち、子々孫々に至るまで石垣市との交流が続きますことを念じてやみません。

日本最北端のこちらは、すでに野山が一面「銀世界」となっており、市民は雪の中で「初詣」に出向いております。終わりになりましたが、石垣市と稚内市のさらなる発展と両市民の皆様のご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

85歳生年祝

ご長寿

おめでとう

ごがいます

1/23
(旧正)

〔二〇〇歳〕

富川シゲ子(登野城三三二)

〔八十五歳〕

宮里三郎(登野城一五六)

黒島直三(登野城一〇一)

與名嶺ウミト(登野城七二二)

二)・高原キヨ(登野城八五)

大濱仁王(登野城三三)

平良金藏(登野城八九一)

太田八重(登野城一〇一)

小椋恵和(登野城六三〇)

上地永賢(登野城六九七)

新良タマ(登野城九四三)

登野城志げ(登野城七〇四)

源河米(登野城二一九五)

通事豊(登野城三二五)

波照間水貞(登野城二二一)

大浜娃(登野城四七二)

嘉長一郎(登野城四五二)

大浜カマト(登野城九七)

伊原初(登野城四〇〇)

座真タマ(登野城二三八)

田幸末(登野城七〇九)

垣信良(登野城二七一)

垣光(登野城二七一)

カミ(登野城七三〇)

トミ(登野城九七六一)

平田キヨ(登野城四三七)

富川松屋(登野城八九四)

仲吉賀仁(登野城八九四)

宮良ヨホサ(登野城八九四)

宮良慶(登野城八九四)

場チヨ(登野城一四六)

田ヲモツ(登野城七五〇)

真喜屋ノソ(登野城九八一)

金城ウシ(登野城六五九)

横田クヤマ(登野城一〇七四)

五)・平良八重(登野城四二

九一)・仲筋信(登野城一

二六〇一七)・宮良當弘(大

川三一四)・船道富(大川四

六一三)・宮良松千代(大川

二五二)・浦本シゲ(大川三

九五)・塩川ツル(大川一五

六)・新垣清秀(大川一七九

二)・浦崎ヨシ(石垣五二)

仲程恵美子(石垣三〇八)

石垣寛吏(石垣五八一)

川満マツ(石垣三三二)

石垣正子(石垣二一四)

山用亮(石垣三七六)

由太郎(石垣四七二)

ヲナリ(石垣二九一)

名長良(石垣二七四)

春(石垣九七)

(石垣三七〇)・宮良成子

(石垣一四二)・賀教カマド

(石垣五二一四)・松田節

(石垣五二)・大濱長充(石

垣六八)・喜舎場文(石垣八

一)・山城カメ(石垣三三四)

一)・西表孫賢(石垣九一)

石垣サカイ(石垣二五五)

吉本吉秀(新川三三七)

我謝初(新川七九)・宮良安

雄(新川五四一)・石垣マ

サ(新川二七二)・新垣タマ

(新川二四四一六)・田場

正吉(新川九六一)・平良

カナ(新川四四二一三)・亀

谷セツ子(新川二四二七)

町田マカト(新川二四五二)

五)・大江高英(新川一九九

木村清隆(新川二四四五)

前盛志加(新川一八七一)

亀谷善盛(新川二四五二)

宮里トミ(新川一一)

加根(新川二四一八一)

慶田盛カニ(新川一六一)

岸本操(新川二四八)・崎浜

つる(新川二四三五一九)

黒島善正(新川四〇一二)

下地カマド(美崎町一一一

二)・内原亀吉(美崎町一六

三)・新井セツ(美崎町七

二)・田場オト(美崎町九

五)・入請舛チヨ(新栄町五

〇一二三)・川上シゲ(新栄

町六一三)・新城静枝(新

栄町二二一七)・狩俣恵長

(新栄町二五一)・當銘

ヤス(新栄町八一三)・西

銘ジル(新栄町一六一〇)

仲上里静江(平得二四六)

上前泊金次郎(平得三六)

生盛邦男(真栄里二四一三)

與那覇三良(真栄里一五六

二)・浦浜タマ子(真栄里三

〇)・仲皿榮市(大浜二〇)

福島ヒナ(大浜二〇八)・前

津福藏(大浜二一六一)

前津チヨ(大浜二一六一)

大島なみ(大浜二〇一一)

仲里クヤ(宮良五五一一)

新本ヒル(宮良二七七)

内勇助(宮良三四二一)

平安名シゲ(宮良一一三一

二)・前盛百合子(宮良一一

三一)・仲宗根オイト

(宮良一一三一)・砂川

太郎(宮良一一三一)

黒島師徳(宮良五八一)

前花哲雄(宮良五七一)

成底マハチ(宮良一二〇一

三)・伊舎堂春光(白保二

〇一一)・山城メガ(白保

二八五一〇)・内原マカト

(白保一四一)・新良たみ

(白保一五八)・長濱百加

(白保一〇二)・平得美代

(白保二〇九一二)・福仲カ

ナサ(白保一六四)・仲島一

夫(白保九一)・金城トキ

(桃里二〇一一)・前

原廣一(桃里二〇一三九)

田里友祥(伊原間三五七)

儀保マツ(野底六四五)・與

那覇恵徳(野底一一四二)

佐久本保久里(川平九二〇

二)・仲野笑(川平九四二)

高屋マカテ(川平六七六)

田本松屋(川平五九六)・嘉

手川清市(名蔵二四三一二五

〇)



若者が安心して定住できる魅力あるまちづくりをと語る
半嶺市長

特集

新春座談会

「地域のリーダーと
市長が語る」

魅力ある石垣市の
まちづくりを目指して

市では、ふるさと創生事業の一環として、人材育成に取り組んでいます。昨年、リーダー視察研修として地域で活躍している青年を対象に、十五名の方々が、まちづくりの先進地である富山県の富山市と山田村を視察いたしました。その中から六名の方に集まっていたいただき、「石垣市のまちづくり」について半嶺市長と膝を交えて語っていただきました。座談会の内容を紹介いたします。

たことを喜んでおります。この成果をこれからのまちづくりに生かして、共に新しい石垣市のまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。

石垣市の真の意味の活性化とは、地域の人材づくり、地域の経済、文化、教育、福祉の各面を担っている人々が、それだけの素養をもってまちの発展に貢献してもらおう。そういう人づくりが一番大切なことだと思います。私は、平成五年度においても人材、人づくりを市政の根幹に据えて進めていきたいと思っております。どうか石垣市の安定した活性化のために力添えを下さい。

司会 それでは最初に、視察研修を通しての感想をお願いします。

伊志嶺 今回、富山県庁と山田村を視察研修して感じたことは、山田村は人口二百名

という小さな村ですが、二ヵ月間で十六万人が訪れる牛岳スキー場や総合体育館等の施設がかなり整備されているのには驚かされました。また、富山県で実施されている人的ネットワークを主としたコロンブ



伊志嶺吉盛さん

ス計画にも大変興味をもちました。

前盛 農業の面で感じたことは、山田村は傾斜地の段々畑がほとんどで、基盤整備をしても近代的農業ができないという悪条件もあるんですが、農業従事者の平均年齢が五十歳以上と後継者不足が深刻なんです。それに比べて石垣市はこれだけの平地があり、整備も進み機械化されている中での後継者不足というのは、ぜひいたくだと思いました。

前野 村が過疎対策について真剣に住民の意見を聞きながら、素晴らしいまちづくりに村民一体となって取り組んでいることを感じました。というのは、村が自主財源で温泉を掘り、それをホテルや保養施設関係に、低使用料で供給しているということです。このことは、民間ではまずできないことですね。

砥板 富山県のテレビ局が東

座談会出席者

- 半前 嶺 當 泰 石垣市長
 - 前 盛 善 宣 農業青年クラブ
 - 前 野 芳 宏 市民憲章推進協力員
 - 伊志嶺 吉 盛 市商工会青年部副部長
 - 砂川 千 恵 市観光協会青年部
 - 次呂 早 苗 大浜青年会副会長
 - 砥板 芳 行 八重山青年会議所
- 司会・高木 健 (市総務部企画室長)

京で「富山県はどこかわかりますか？」とアンケートをしたところ、約50%しかいなかった。それで知名度がないというところで危機感をもってまちづくりに取り組んでいるということでした。石垣市も観光地として知名度があると思っ

沖縄県は結構知られています。石垣という地名はそれほど知られていませんね。それで砥板さんが話されたように個性あるまちづくりが必要だと思っています。



砥板芳行さん

砂川 私はダイビングショップを営んでいます。海が商売なんです。それで共通点があるんです。というのは、山田村はスキーズン、いわゆる冬場しかお客が来ない。こちらは、夏場しか来ない。そこで、冬場に観光客を誘致する方法がないかどうか、感じました。

司会 ひととおり視察研修の感想をお聞きしましたが、その中でコロンブス計画がでてきました。もう少し具体的に説明をお願いします。伊志嶺 一言で言えば、地域のサークルによるネットワーク化ですね。そのネットワークを活かしてイベントを実施する訳なんです。

石垣市のまちづくりについて

司会 なるほどユニークな計画ですね。それでは次に、石垣市のまちづくりについてご意見を伺いたいと思いますが、半嶺市長は就任以来、対話と協調を主格にすすめていますの

で、市長の考えを伺いたいと思います。市長 まちの活性化という原点に立って考えるならば、それは市民がまちのために誇りと気概をもつことが大切です。市民が、行政を動かして施

策がなされているんだという意識をもつことが基本だと思います。

私は、石垣市のまちづくりは、若者が安心して定住できるようなまちをつくることだと思えます。まず、時代に遅れないようなまちづくり、いわゆる生活大国にふさわしいまちづくりを進めなければならぬと思います。そして、石垣市の特性である海の自然景観を活かしたまちづくり、つまりリゾート開発による企業の誘致、そこから得られる経済的効果及び人材の育成を考慮したまちづくり、さらに来るべき高齢化社会に対応して老人福祉の充実のための財源が確保できるまちづくり等を展望しながら、総合的な面から施策を展開していかねればならないと思います。

**海の資源を
活用した
まちづくりを**

砂川 石垣市には、現在、三十余のダイビングショップがありますが、ほとんどが本土の人が経営しています。指導



石垣市のまちづくり、人材育成について熱い想いを語る地域のリーダーたち

するインストラクターも本土の人が多くですね。というのは、目の前に美しい海があるのに、それを活用するという習慣がなかったんですね。むしろ海に行くと怒られました。これからは、海に対する教育も大切だと思います。

市長 そうですね、地元の人もこの素晴らしい海洋資源をもっと活用して欲しいですね。



砂川千恵子さん

砂川 石垣島の美しさを知っているのは、本土の人ですね。地元の人もっと海の良さを知ってもらいたい。最初に市長に是非ダイビングをして欲しいですね。(笑う)

司会 海の素晴らしさを全国各地にアピールするために、市長自らがダイビングをするということを公約してみては如何でしょうか。(笑う)

市長 実は先日、初めてゴルフをしたんですが、なかなか難しいですね。ボールにあたらないんです。しかしちよ

と病み付きになりそうな氣もしました。それと同様にシュノーケリングもしてみたいですね。(爆笑)

司会 歴代市長でシュノーケリングをした市長はいないはずですから、ここは第一号ということ、是非、挑戦して欲しいですね。(笑う)

八島町を 夢のある まちづくりに

砥板 現在、市民と語る集いを実施していますが、今年是非、漁協青年部と実施して欲しいですね。それと、八島町のまちづくりですが、オーストラリアのシーワールドのようなものが、できないかどうかですね。

市長 大変いいことですね。特に、八重山の漁協の場合は若者が多い、若者相手にこれからの水産業はどうあるべきかということ、意見を交換したいですね。それから、八島町のまちづくりですが、ローカル色を出せるようにしたいですね。また、出島は、電線を埋設して、夢のあるまちづ

くりのモデル地区として進めていきたい。石垣市は、緑があつて赤瓦があつてという印象で来られるのだが、島に降りてみると、どうもマツチ箱のような建物ばかりしかないということでは、期待と現実



前野芳宏さん

花とみどりの 美しい まちづくりを

前野 美しいまちづくりに欠かせないものは、海がきれい、緑が豊富とあるのですが、花もいたるところに必要だと思います。現在、地域でボランティアで花を植える氣運が高まっていますが、苗の供給体勢が不足していると思

と思います。それと、観光の面から島の玄関口である空港通りを「花の道」として整備し、緑と調和させることも大切だと思います。

市長 平成四年度は花いっぱい運動を進めてきました。苗の供給については、林務課、あるいは農林高校と提携して供給体勢を整備していきたい。同時にまた、植えた後の管理面も通り会等に協力をお願いするとともに、技術面での指導体勢も整備していきたい。



夢のあるまちづくりについて
リーダーと語る半嶺市長

若者が安心して 定住できる まちづくりを

前盛 山田村は過疎化を防ぐために、十数年前から若者のために公営住宅をつくって、定住化を図っている。石垣市でも、中規模農業地区の宮良や白保、川平で若者の地域離れが見られます。その原因は、住宅がないことなんですね。ですから、そういう地域に、農家の次男、三男を対象とした団地を造って欲しいですね。

市長 地域の活性化のためにも、若者を定住させるためにも地域のニーズによって公営住宅を造っていくことは、必要なことですね。同時にまた、若者に宅地を提供する、現在平真と大浜間に家が増えていますが、そこを農振から除外し宅地として整備し、市の土地開発公社が買い上げて、若者に適切な値段で払い下げていくということも考えられないかどうかですね。

伊志嶺 今度の研修会の成果を生かし、さっそく「ふるさと創生塾」をつくりまして、

まず、与那原町の「まちかど図書館」をモデルに「ふるさとまちかど図書館」を各地域に設置しようということになりました。いわゆるリサイクルで集まった古本を活用して、24時間オープンの本庫をつくるわけです。しかも行政の力を借りずに、塾のメンバーで実施してみたいと思っています。

市長 とても良いことです。ぜひ頑張ってください。若い人が定着していくためには、いろんな面で魅力もてる、しかも行政が若者のためにやっているんだという熱意もてるのが大切です。そういう意味で、市では総合体育館の建設準備を進めています。四年間の任期の中で、一つの事業を完成させることは非情に至難なことです。最初の年度は前任者からの引継ぎ業務、二年度から自分のものを出していく、いわゆる準備の年です。三、四年目が計画を実行に移していくということです。ですから総合体育館も平成六年には是非完成させたいと思っています。

プロ野球の

キャンプ誘致を

プロ野球のキャンプを誘致し、市民にプロの技術を常時見れるようにする。また、若い観光客を一過性に終わらせないために、「結婚の森」をつくり、記念に植樹してもらう。木に対する愛情から、もう一度訪れてくれるのではないかと思っています。砂川 富山県庁に海の好きな方がいらっしやいます。その方は昨年の三月にも石垣に訪れているんですが、今回の研修がきっかけとなって、今年も又来たいという葉書を頂きました。

司会 海が好きで石垣市に來てもらうリピーターを、一過性に終わらすのではなく、又来てもらうということについて、市長の考えをお願いします。

市長 サングオの海、熱帯魚が遊ぶ海、この海を有効に活用する施策が必要ですね。いわゆる海中展望台等の施設を整備するなど、海の資源を島の経済のために活かす努力が必要です。



前盛善宣さん

若者に魅力のある農業環境づくりを

前盛 これからの農業も若者に魅力のある環境づくりをしなければならぬと思います。今、機械化農業の時代です。ね。基幹作物であるサトウキビもハーベスターで収穫しているんですが、コストが高いんです。いわゆる稼働率が少ないのも反映していると思います。それで一刻も早く機械化農業の整備充実を図るべきだと思います。それと流通系統の整備も急務だと思います。

市長 コストダウンを図ることとは大変重要な事です。幸い、昨年、機能的にも優れた中型のハーベスターを四台導入しまして、稼働率がアップすると言うことで大変期待しています。それから物を作ったが

売値が安定しない、流通の面からも不安である。これでは農家も安心して生産に取り組めない。ですからリゾートを誘致すると同時に、農協系統と行政がタイアップして流通センターを整備し、島内にできた新しい消費者としてのリゾートと提携し、常に必要な農産物が島内から供給できるというシステムをつくっていく。同時にまた、郡外(本土)の市場の情報を的確にキャッチして、農家に提供する。そうすることで安心して生産することができると。

伊志嶺 流通に関連して、現在、貨物の不積が出ています。そこで、貨物専用機を配備し

石垣市の人材育成について

でそれに対処する方法もありますが。

市長 仮に新空港の建設が決まっても、十年かかると言われています。しかし、この間の経済、特にウリミバエ根絶後の農業とも関連して、停滞させる訳にはいかないんですね。そこで、東京、石垣の直便を飛ばすことができないものか。あるいは、積み残し対策として、空港に保冷庫をつくるということも考えられますね。

司会 時間の関係もありますので、進めていきます。次に石垣市の人材育成について、意見をお聞かせ下さい。



次呂久早苗さん

次呂久 石垣島まつりの実行委員会に、もっと若者を多く入れて、若者のアイディアを聞いて欲しいですね。

市長 それは、大事なことです。人材育成という場合、やはり先進地の視察など、実際の社会活動を通しながら育成されていくものだと思います。そういう意味で若者をできるだけ参加させていく、そうすることで、それぞれが自己啓発していくということが大切です。

農業指導者の

育成を!!

前盛 現在、バイオ農業が盛んですが、技術講習会を開催する場合は、那覇から講師を招いて実施している。なんとか地元で、指導できる人材の育成とそれに見合う施設を整備して欲しいですね。

市長 本市には、農林高校があります。そこでは、バイオテクによりツツジやランのオリジナルを作っています。そういうバイオテクの面をもっと積極的に推進し、一般へ普及させていくことも大事なことです。それから、農林省の熱研センターには、バイオテクに関する専門家がいますので、その提携して実技講習会を実施することも必要ですね。

前野 年々観光客が増えていますが、反面、まちが汚いですね。空き缶やゴミの散乱が目立ちます。一部の公徳心のない人々によるものだと思いますが、それを改善するため、福岡県や歌山県ならって条例を制定し、罰則規定を

設けることはできないでしょうか。それから、塵芥収集の回数を増やすことはできないでしょうか。

次呂久 前野さんの話に関連しますが、市内に数多くの自動販売機があります。しかし、空き缶箱が設置されていないところが結構ありますね。それで、自動販売機の設置者に空き缶箱の設置と空き缶の回収まで義務づけたら良いと思います。

市長 観光立市をめざすためにも、きれいなまちをつくること、衛生的なまちづくりをするとは、基本的なことです。猫や犬の食い散らかしの原因は、生ゴミです。現在、生ゴミ処理器を配付して、各家庭で生ゴミを処理してもらおうようにしており、今年も普及の徹底を図っていききたいですね。



富山県を視察研修する地域のリーダーたち

八重山の人材

育成について

司会 ここで、同行したメンバーの照屋君が、特に市長にご意見を伺いたいということで見えています。

照屋 人材育成の点で、市長は二十代で大浜町の総務課長になっていますが、その当時の人材育成のあり方、八重山は人材育成にむいていた風土だったのかどうかをお聞かせ下さい。

市長 八重山の人材育成というのは、根本的に八重山の母親が教育に対して、熱心であったということが言えますね。

八重山という島は、昔から貧しい島であったという悲惨な歴史があるんですね。貧しい資源の中で生きてきたものから、子供達は自分の能力で生きていけという教育論がありましたね。そこで勉強したい人は苦学努力して、師範学校へいくんです。師範学校は官費ですから、経済的に力のない家庭の子供達は、一生懸命勉強しました。ですから

師範学校の特待生は、ほとんどが八重山出身でした。当時の社会環境が、頑張らなければならぬというものがありましたね。

司会 それでは、時間ですので、最後に市長にまとめをお願いいたします。

市長 どうも今日は、みなさんそれぞれの立場で、意見を述べていただきました。ありがとうございます。

提案を市政に活かしていきたいと思えます。また、市政に つねに目を向けて頂き、ご叱声を期待しています。

今年も、皆さんご健で、新しいまちづくりは、我々がやっているんだという気概をもって「ふるさと創生塾」を大事にされて、共々に自己研鑽し、地域のためにご尽力していただきたいと思います。

まずは
成人おめでとう!
ただし
国民年金に
加入してからだ!!

ガフハッ
バツ

石垣市国民年金課
国民年金係

デーモン小暮閣下

平成5・6年度
建設工事等
入札参加資格
申請受付

市では、平成五・六年度の建設工事等の入札参加資格審査の受付をいたします。この届出のない場合、入札等に参加できませんので建設業関係の方は遺漏のないよう申請して下さい。

▽受付期間
平成五年二月一日～二月二十六日

▽受付時間
平日 午前九時～午後五時
土曜 午前九時～正午
※日曜日、祝祭日、第二・四土曜日は受け付けしません。

▽受付場所
石垣市役所 検査室

▽提出書類
①建設工事入札参加資格審査申請書類
②建設業許可証明書の写し
③経営事項審査申請関係書類の写し
④経営事項審査結果通知書の写し

⑤市税（石垣市）の納税証明書
⑥返信用封筒（ワンタッチ式）
62円切手貼付（宛名記入）
⑦その他

▽提出部数
それぞれ一部

▽提出方法
・建設関係
持参（内容の説明できる方）
・コンサルタント関係
持参又は郵送

詳しくは、市役所検査室
☎二一九九一一（内四四一）

住宅統計調査

区域設定にご協力を!!

平成五年住宅統計調査の実施にあたり、調査員が担当する調査区域を明確にし、調査の円滑な実施と期するとともに、結果精度の向上に資することを目的に、住宅統計調査の単位区を設定します。単位区は平成五年二月一日現在に於いて設定しますので、調査にご協力をお願いいたします。詳しくは、市企画室まで
☎二一九九一一（内二二四）

ゴミとリサイクル

私たちの生活は、大量消費大量廃棄時代を迎え豊かさの頂点に達しています。このような生活環境の中で「このままではいけない、何とかしなければ」とゴミ減量化・リサイクルを実践する市民が増えています。今年も、地域で活動する人々を紹介し、みんなで地球環境を考えていきたいと思います。

① パパヤ自治会

～リサイクルでゴミユニケーションを～

パパヤ自治会は新川第二団地の自治会で、石垣市ではじめてゴミの分別収集に取り組んだ地域です。すなわち、燃えるゴミ、資源ゴミ（古本・空き缶・空き瓶）、粗大ゴミに分別して排出しはじめたわけです。当初は、子ども会活動の資金づくりが目的だったようですが、今では、ほとんどの住民が協力し実施しており、これまで、回収した資源ゴミの売上金で図書を購入し、団地自治会室に「パパヤ文庫」を設置するなど、まさに一石二鳥の活動効果です。

近年、石垣市も生活様式の変化に伴い、隣人関係が疎遠になりがちです。パパヤ自治会では、リサイクル活動を通して人と人、人とゴミを緊密にする、いわゆるゴミユニケーションで地域づくりを図っているようです。



「お蔭様で、住民みんなに団地をきれいにしたいという公徳心の高揚がみられる」と

地域での環境リサイクル活動が、次の地域へそしてまた次の地域へと、大きなうねりとなって、きれいな住みよい石垣市のまちになっていくと期待されています。

調。

もに、買物にもリサイクルができるものを」と考えるようになってきた。また、「リサイクルは、遊び感覚、楽しさを取り入れることが大事です。それと、子供たちに地球環境について教えるいい機会でもあります」とリサイクル効果が着実に表れていることを強調。



資源ゴミ回収日

一月十七日午前九時～十時
あなたの家庭のゴミ、リサイクルできるものはありませ
んか。

回収場所は次のとおりです。

- 登野城地区 登野城公民館前
- 大川地区 旧マルチ電気店角
- 石垣地区 大川公民館前
- 新川地区 NTT前駐車場
毎日新聞社前駐車場
石垣公民館
- 美崎町地区 新川公民館前
宇根商店前

新栄町・浜崎町地区

- 旧岡崎会館広場
- 新栄町自治公民館前
- 双葉地区 茅原真喜良教室東空地
まきら幼稚園前

大浜地区

大浜公民館前

宮良地区

宮良公民館前

白保地区

白保郵便局前

名蔵地区

名蔵公民館前

崎枝地区

石垣商店東空地

川平地区

川平農村集落センター前

分別品目と注意事項

アルミ缶
スチール缶と間違えないよ
うにお願いします。必ず、潰
して下さい
新聞紙
新聞紙にはさまれているチ
ラシは抜き取り、雑誌として
出して下さい。

雑誌

- 雑誌類、菓子類、ゼラン
- ダンボール紙
- ダンボール紙類
- 牛乳パック
- 内側がアルミ泊の牛乳パッ
クは再生できません。
- 雑紙
- チラシ、カタログ紙、コピー
用紙、紙袋、封筒類、クラフ
ト類

★古紙は種類別に分け、紐で
十文字にしっかりと縛ってお
出してください。

行政相談

毎月第三火曜日
午前九時～正午
市役所市民相談室

生年祝い

一月二十三日 市民会館
百歳一人、八十五歳百三十
四人の方々の長寿を祝い頌状
記念品を贈呈します。

法律相談

毎週 水・金曜日(市民相談室)
午前九時三十分～十二時

**中日ドラゴンズ
少年野球教室**

一月三十日 午後二時
市営野球場
野球少年憧れのプロ野球選
手が直接指導！みんなこの日
が楽しみです。
青年会議所 二一六五六六

健康福祉祭り

一月三十、三十一日
市民会館、商工会館、新栄
公園
日頃の忙しさに自分の健康
管理を忘れていませんか。
市民生課 二一九九一一

大ホール

15日	成人の日式典	教育委員会	2-0373
16日	太鼓発表会	神谷悦子太鼓研究会	2-9191
24日	旧正チャリティー公演	沖縄演劇愛好会	2-5623
28日	第25回沖縄県へき地教育研究大会	県へき地教育研究連盟	8-2141
30-31	健康福祉祭り	市民生課	2-9911
2/3	吹奏楽のタベ	防衛協会	2-3151

中ホール

16日	楽しいつどい	八重山保母の会	2-5096
23日	生年祝	市民生課	2-9911
30-31	健康福祉祭り	市民生課	2-9911
2/3	肉用牛生産技術研修会	市畜産課	2-9911

展示ホール

23-24	かきぞめ展	石田習字教室	3-0184
-------	-------	--------	--------